

下京のひびき

市民しんぶん
下京区版
8/15

推計人口 70,210人
男 32,762人
女 37,448人
世帯数 31,729世帯
(平成9年7月1日現在)

100歳 万歳



森藤宗次郎さん(七条第三学区)



浅野なつゑさん(梅逕学区)

地域・家族の輪でいきいきと

早起き、植木の世話も
食べ物好き嫌いなし

浅野なつゑさん(梅逕)

高齢社会が進み、下京区でも65歳以上の方が21・6%(平成9年7月1日現在)を占めています。
京都市では、特別養護老人ホームやデイサービスセンターの整備など高齢者福祉のまちづくりを推進し、いきいきとした健やかな暮らしを支援しています。今回は、今年100歳を迎えられ、ますますお元気なお二人を訪ねました。

浅野なつゑさんの一日は朝4時に目覚め、8時頃から家の前のお地藏さん、近くの栗嶋堂へのお参りから始まります。洗濯、食事の支度、好きな植木の世話、買物は八条付近まで歩いて行き、手で持って帰りますとのこと。世の中の動きがよくわかるように、テレビ、ラジオは常に見聞きしているそうです。100歳のお誕生日である7月20日には、浅野さんの一人暮らしを支えられている学区の皆さんからお祝いを受けました。姿勢がよく、いきいきとしたお顔、杖もなく歩かれる元気の秘訣は、食物の好き嫌いをせず、大きな好奇心を常に持ち続けることだそうです。

家具作り一筋の人生

いま、だんらんの中に

森藤宗次郎さん(七条第三)

森藤宗次郎さんは娘さん、息子さん、お孫さんの6人家族で暮らしておられます。

娘さんが、作られる煮炊き物などほとんど何でも食べられ、元気に過ごされています。

つい最近までは、近くの病院へ一人で通院したり、息子さんと銭湯へ通うのが日課でした。84歳まで現役の家具職人とし

て、様々な家具を作った森藤さん宅の、しっかりと水屋などの年代を感じさせる深みのあるつやが印象的でした。



林 真一郎(西大路小6年)
模写だったので、色に注意して、原作者の気持ちになって描きました。



谷田 充弘(七条小2年)
アジサイの花をかくとき、ゆびでおしました。うまくかけたと思います。

ひと・まち・ロマン 元気都市・京都